

【お礼】

約1年に渡り、大勢の、本当に大勢の方…

北は北海道から南は沖縄まで、友人たちからも、友人の友人からも、
そしてまだ出会っていない方からも、たくさんのお志を寄せて頂きました。
本当にありがとうございました。

「家族の似顔絵リビングに飾ってあるよ」
「自分の似顔絵なんて恥ずかしいけど記念になった」
「リモートワークのデスクに置いて毎日見てるよ！」
「娘は学校から帰るとまずこの絵を見に行くんですよ」

などなど、たくさん嬉しい感想を寄せて頂きました。

似顔絵は要らないよ、協力させてね

と申し出て下さった方も一人や二人ではありませんでした。

私のオフィスに封筒を届けて下さった方達のお顔もすぐに頭に浮かびます。

食べ物、衣類、たくさんのお機会や笑顔や希望を届けてくれた方もいらっしゃいました。

感謝の気持ちでいっぱいです。

これしか言えないけど…

本当に本当にありがとうございました。

帰国困難アーティストだったクララ、テレサ、オリアナですが、
クララは1月の末に無事帰国し、現在はワクチンの順番を待ちながら、
再び日本に来ることを夢みて、日本語に磨きをかけています。

紆余曲折の末、4月末にようやく帰国できたテレサはコロンビアのボゴタで

先日、久しぶりのエキシビジョンを開催しました。

日本で個展を開くための準備も進めています。

日本に残ることを決めたオリアナはメキメキと日本語を上達させ、

今では私との会話も半分は日本語です。

そして先日は日本で2回目のお誕生日をお祝いしました。

(オリアナは日本に滞在していますので、
アート系のお仕事やワークショップなど絶賛受付中です。)

本来ならば、お心寄せて下さったお一人お一人にお会いして
きちんとお礼をお伝えすべきところですが、誠に誠に勝手ながら、
本プロジェクトはこのご報告を持ちまして終了致します。

(前回のブログでご紹介した通り、もしもまだ手元に届いてない方がいらしたら教えて下さい)

支援のお願いをしているのは私たちで、
大切なお金と時間と労力と真心で支援して下さいるのは皆さんなのに、

「こんな機会を作ってくれた」

「あなたが始めてくれたおかげで問題を知ることができた」

「プロジェクトのおかげで私も役に立つことができた」

と、数え切れないほどのありがとうの言葉を受けとる経験をさせて頂きました。

本当に本当にありがとうございました。

2008年のリーマンショックの直後に会社を立ち上げた時には

「日本人も大変な時になんで外国人の世話なんかしてんだよ」

と怒鳴られたこともあります。

2020、21年にはこんなにも多くの人の優しさに触れることができました。

感謝しかありません。

何度も言わせて下さい、本当にありがとうございました。

昨年立ち上げた家事代行サービス「アンサーキャッツ」のキャッチコピーは

「おせっかいは世界をすくう」です。

皆さまの暖かいお心に触れて、私のおせっかいの旅はまだまだ続きます。

これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後にもう一度、テレサ、オリアナ、クララ、出逢ってくれてありがとう。

そして、今この時代に一緒に生きる全ての皆さまに感謝申し上げます。

ありがとうございました。